

# ケータイ・スマホのアンケート

## その結果を比べてみました

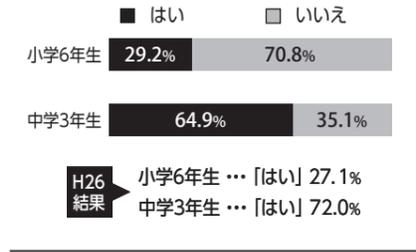
携帯電話やスマートフォン(以下、ケータイ・スマホ)、その他ゲーム機を含めたインターネット(以下、ネット)端末の利用実態アンケートを町教育委員会が実施しました。町内の小学3年生、6年生、中学3年生の児童・生徒とその保護者など1,382人を対象に行われ、今回で2回目。前回(平成26年度)結果と比べてみました。また、「おぜのかみさま」でネットの正しい使い方を広めている大泉警察署のかたにお話を伺いました。▼問合先 町教育委員会学校教育課 47-5042



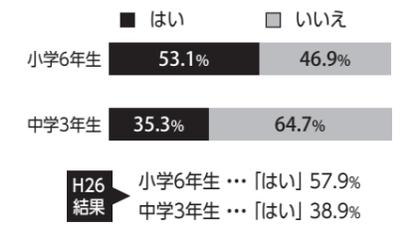
大泉警察署生活安全課 南澤 愛 巡査長

### 所有率

Q. ケータイ・スマホを持っていますか?



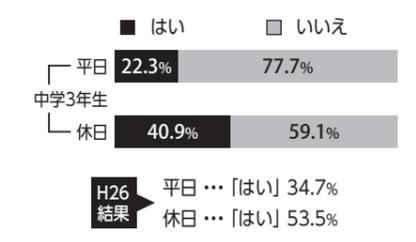
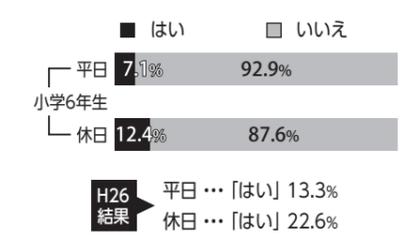
Q. インターネットにつながるゲーム機を持っていますか?



■考察■所有率は小学6年生で若干増加した他は減少しています。安易に持たせるのではなく、本当に必要かどうかを考えた結果と考えられます。持たせないことも保護者としてできる適切な教育です。

### 使用時間

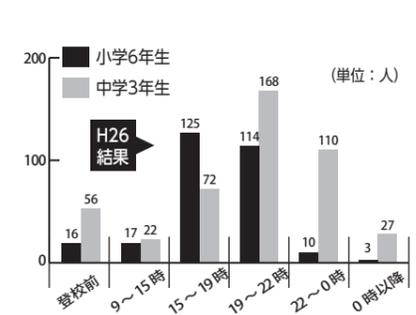
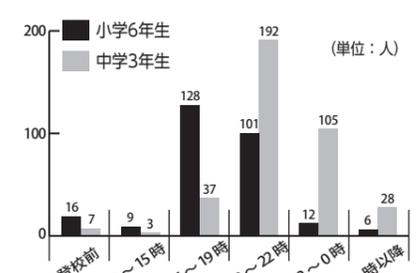
Q. ケータイ・スマホを使う時間が、1日あたり2時間以上ありますか?



■考察■一日あたり2時間以上使用していると答えた小学6年生、中学3年生は減少しています。周りの大人の指導や見守りにより、子どもたちの意識が高まっている結果と考えられます。

### 利用時刻

Q. ケータイ・スマホを使う時間帯を、教えてください。



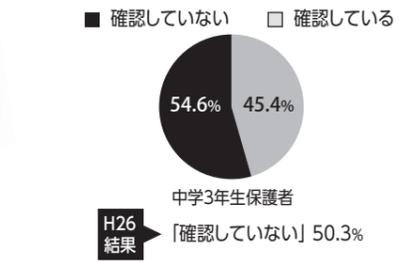
■考察■前回調査でも大変気になった22時以降の利用は改善されませんでした。保護者の目の届かない時間帯での利用であり、ケータイ・スマホへの依存やトラブル、犯罪被害が心配されます。

### 困ったこと

Q. ケータイ・スマホなどを使っていて、困ったことは何ですか?

困ったこと	H26結果
悪口、既読スルー、仲間外れ	22人 32人
のめり込んでしまい、勉強できない	8人 18人
個人情報の公開	0人 12人
不適切なサイト利用	5人 5人

Q. 保護者は、子どもの使用内容を確認していますか?



■考察■改善されています。しかし、子どもの使用内容を確認していない中学3年生保護者が半数以上という結果は心配です。持たせるのであれば、まずは保護者の責任と見守りが大切です。

### 邑楽町の5つの取り組み



**か** 必ず守ろう、家族のきまり。



**く** 9時、10時。利用時刻は小学生夜9時まで、中学生夜10時まで。



**こ** 子どもを守ろう! フィルタリング。



### わが家のネットのルール

- 名前、写真、学校名など個人情報は書かない
- 読んで不愉快なこと、悪口は書かない
- 長時間の使用につながる無理なメッセージややり取りを友だちに要求しない
- 知らない人からのメールやメッセージには絶対に返信しない
- ネットで知り合った人とは絶対に会わない
- お金がかかる場合は事前に相談する
- 勉強するときは電源を切る
- 夜( )時以降は電源を切る
- 夜( )時以降は自分の部屋に持ち込まない
- 充電は家族のいる部屋でする
- 食事や会話のときは使わない
- フィルタリングのパスワードは保護者が管理
- ルールが守れないときは使用禁止



- お** 写真をおくらない  
人に見られて困る写真は送らない
- ぜ** ぜったいあわない  
ネットで知り合った人とは会わない
- の** 個人情報をのせない  
名前、住所、学校名などは載せない
- か** 悪口等をかきこまない  
人を困らせるようなことを書かない
- み** 有害サイトをみない  
フィルタリング機能を有効に使う
- さ** 出会いをさがさない  
ネットで出会いを探さない
- ま** ルールをまもる  
使用時間や料金などのルールを決める

子どもと大人でどう使うか話し合います。食事の時間はメールの送受信をしない「使うのはリビングで」など家庭内で使い方のルールを話し合うことも大切です。ネット上でのモラル、善悪の判断の仕方についても、日頃から話し合っていたきたいです。ネットはとても便利なものです。しかし、その使い方によっては、本来傷つてはいけないはずの家族や友人が傷ついてしまうんだ、という現実を分かってください。

**子どもの世界がガラッと変わる**  
一度、子どもにケータイ・スマホを使わせたなら、子どもの世界がガラッと変わることを認識してください。ゲーム機やケータイ・スマホを買うのは大人、与えたら見守ってあげることが大切です。犯罪に遭わないために、子どもは学ばなければいけないし、大人も管理してあげなければいけません。その一つとして、ルールづくりやフィルタリングは絶対に必要なことです。

**警察署からも発信していきます**  
大泉警察署では、防犯関係団体や学校と連携し「小中学生や高校生が犯罪被害に遭遇しない」「安全で安心してネットを利用できる環境づくり」の取り組みを進めています。具体的には、「フィルタリングの活用」を呼びかける情報モラル講習の実施です。

**ネット依存や危険も身近に**  
今やケータイ・スマホは私たちの生活に欠かせないものとなっています。特に注目なのはそれが「電話」としてより「ネット端末」として使用することが多くなっているということです。また、ゲーム機でもメールやネットに接続することができます。子どもは、学校生活以上にネット上のグループの人間関係に気を使います。仲間外れになることを警戒し、常にケータイ・スマホを手離せないという子どももいるようです。とりわけ無料通信アプリの使い方によっては問題が生じています。友達とのやり取りを何時間もやめられない、知らない人からの誘い出しなど、依存や犯罪被害の危険性が増えています。手のひらに乗った小さな機器で世界中の人とコミュニケーションできるという利便性と、その一方で大きな危険性を秘めていることを大人も子どももしっかり認識しなければなりません。